

専攻主任あいさつ



松井 康司

同窓生の皆様、日頃、本学の教育にお力添えを頂きありがとうございます。心から感謝を申し上げます。この場をお借りしまして、この一年の専攻の活動のご報告をさせていただきますと思います。

毎年のことながら、学生の確保につきましては相変わらず苦勞しておりますが、このところ社会人受験生の動向に変化があり、定年退職後の人生設計の道として、本学への進学を考える方が増えており大変興味深いところです。人生90年と言われる昨今、60歳からの30年の生き方を真剣に考える方が増え、本学への進学を決め、面接でも熱心に想いを語られ、私ども教員も感銘を受けることが多々あります。そのような方々は様々な業界で素晴らしいキャリアを築き上げた方が多く、その学ぶ姿勢は素晴らしいものです。ご自身が築き上げてきたキャリアに音楽の専門性が加わり、その後の人生が深く充実したものになっていくと確信しています。そのような方々のこれからの活動が楽しみです。

さて、認定専攻科も完成年度となり、教育内容は充実しております。本学の教育内容の理解の広まりから、ありがたいことに対外的な活動が益々増えてきております。この1年の活動としましては、昨年2月に、音楽専攻が主催し、50周年事業でも公演しました音楽劇「瀧廉太郎物語」の公演が、瀧廉太郎のお膝元、大分県竹田市に新しくできたホール、「グランツたけた」の柿落とし事業として行われました。4月には、本学の講師であられた作曲家、新実徳英先生が作曲された震災復興ソング「つぶてソング」を歌う集いが福島県南相馬市で行われ、声楽専修の学生を中心にアンサンブルを結成し参加しました。今年は福島市で行われますが、器楽の学生も含め、30人近い学生が参加する予定です。また、10月には3年計画で行われてきた兵庫県加東市との共催企画「音楽の日」が最終年度となり、教員、学生、卒業生によるコンサートやワークショップを行い、たくさんの市民の方々に楽しんで頂くことができました。そして、恒例となりました、福島県南会津町教育委員会との共催で行っている小学校での学校訪問コンサートも、3グループに分かれて、学生が考えたプログラムで公演を行いました。近年は、障害を持っている方々が働く作業場でのコンサートや、町役場でのランチタイムコンサート等、学校だけでなく様々な環境での場が増え、学生にとっても良い学びの場となっています。さらに、地元、調布市では、調布市文化会館のエントランスでの「小さな小さな音楽会」や、せんがわ劇場での「サンデー・マティネ・コンサート」、神代植物公園での野外コンサート等々、地元での地域貢献の場も充実しています。本学の教育に理解を示してくださる自治体が増えてきて益々広がりを見せているのは本当にありがたいことと思っております。

今後の課題は学生数確保のみと申し上げて良いくらいですが、そこが根幹となります。本学のような小規模校では、あと10名程度のことでですので、どうにかならないかと模索を続けております。大規模校にはできないきめ細かな一人ひとりへの教育が対外的な公演での信頼に繋がっていると思っております。音楽系大学の中では学費も安く、認定専攻科の設立により、大学院への進学も可能となりました。同窓生の皆様には、学生確保のため、このような本学の様子を多くの方々に発信して頂けると嬉しく思います。なお、音楽専攻奨学金に関しましては、今年度、8名の学生に支給することができました。お力添え、心から感謝申し上げます。同窓生の皆様には、今までも様々な場面でサポートして頂いておりますが、今後の益々の専攻との連携とお力添えをお願い申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。



発行

桐朋学園芸術短期大学
音楽専攻同窓会「桐の音」
題字 (故)生江義男先生
発行責任者：加藤 理恵子



桐朋学園芸術短期大学 学生部長 准教授
永井 由比

皆様には平素より本学の教育に対しまして温かいご理解とご支援、ご協力を賜り、有難く感謝申し上げます。学生部長として学生の進路、就職についてご報告いたします。

2019年度の入学生は芸術科音楽専攻39名、専攻科音楽専攻22名にてスタートを切りました。

芸術科の学生の内訳は現役の学生が22名、社会人学生が17名とやや現役生が多いものの社会人と現役生がほぼ半数の割合で在籍しております。

社会人学生の年齢構成は23歳から上は78歳までと幅広く、また近年は定年退職後、または早期退職をした50代後半から60代前半の男性の社会人入学生が増えている事が1つの特徴となっております。

就職については近年、音楽関係だけではなく一般就職を希望する学生も増えてきている状況から、ハローワークや就職支援会社との提携、キャリア支援クラウドサービスキャリアタスUCの加入等、進路相談室の拡充を図ってきました。

今年度の進路、就職の動向で1番大きな特徴は、昨年度からスタートした学位授与機構認定専攻科初の学位(大学卒業)取得の卒業生(12名)を迎えることです(令和2年2月現在)。

実際、大学卒業見込みとして就職活動をした学生もおり、見事学士(見込み)の資格で就職を果たした者もおりました。

もう一つの動向として近年教職免許(中学2種)の資格を活かして就職活動する学生も増えてきており、毎年複数名が中学音楽、小学校音楽専科の教諭、代替教員として活躍しているほか、教職免許の任用資格である児童指導員として、学童、放課後子ども教室事業での正規職員として社会に羽ばたく学生も着実に増えてきております。

学校全体としては、本学を卒業後、就職、その他の進学(進路)先を希望する学生は(演、音本科、専攻科全て含む)約50名~60名、また一般就職希望も増えてきたとはいえ、卒業後は上記の半数以上がフリーランスという立場(俳優、演奏者、音楽教室経営、演出家、脚本家、声優、プロデューサー、舞台のスタッフとして照明、舞台監督、音響等)、もしくは業務委託としての音楽教室講師、劇団所属として活動(目指している)しています。

桐朋学園芸術短期大学の教育の根幹にあるのは、一生自分で学び続けることができるための土台づくりであり、自らで学ぶ方法を知ることです。特に芸術・表現活動を目指して社会に出た学生たちは、そこからは試行錯誤の日々が待っていると思います。

つらいことに映るかもしれませんが、逆に言えば自身のアイデンティティを見つけ、やりたいことにまい進するというのは素晴らしいことだと確信します。もちろんその道は非常に厳しい道であり、年月を重ねていくうちに志半ばで活動をやめたもの、もしくは他の道を見つけたもの、順調にその道に進めていくもの、まさに悲喜交々ですが成功することが全てではなく、その過程を経て彼らがどのように人間として成長していくか、桐朋で学んだ土台をその後の人生にどう活かしていけるかこそ大事なのではないかと思えます。

この時代に好きなこと、自分の本分を見つけて表現活動を頑張って継続している彼らを心から誇りに思っており、その人生の成功を願ってやみません。

2019年2月14日、調布市文化会館くすのきホールにて第49回卒業・修了演奏会が開かれました。

(○は本科生、☆は専攻科生)

Program

1. M. オアナ: ティエント Gu. 本多 磨弥(東京都)○
M. Ohana: Tiento
2. G.F. ヘンデル: 私を泣かせてください(歌劇「リナルド」より) Sop. 竹一 穂香(兵庫県)○
G.F. Händel: Lascia ch'io pianga (Rinaldo) Pf. 相澤 真祐
P. マスカーニ: わずかの花を(歌劇「友人フリッツ」より)
P. Mascagni: Son pochi fiori (L'amico Fritz)
3. R. シューマン: クライスレリアーナ 作品16 Pf. 平木 花歩(東京都)○
第3曲 ト短調 第6曲 変ロ長調
R. Schumann: Kreisleriana Op. 16 No. 3 g-moll No. 6 B-dur
4. P. チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲 作品35 Vn. 李 天禹(中国上海)○
ニ長調 第1楽章(一部省略) Pf. 星 可奈絵
P. Tchaikovsky: Concerto in D major Op. 35 for Violin and Piano 1st mov
5. A. ジョリヴェ: フルートと弦楽のための協奏曲 Fl. 大橋すみれ(神奈川県)○
A. Jolivet: Concerto pour Flute et Orchestre a Cordes Pf. 白尾 絵里(演奏助手)
6. C. サン=サーンス: アレグロ・アパッショナート 作品70 嬰ハ短調 Pf. 智葉 夏鈴(愛媛県)○
C. Saint-Saëns: Allegro appassionato cis-moll Op. 70

— 休 憩 —

ウィークエンドカレッジ・イブニングカレッジへのお誘い

今年も、短大で、ウィークエンドカレッジ・イブニングカレッジが開講されます。

「ご当地ソングを歌おう!」「音楽、その正体とは」「身体と音楽との調和」をはじめとして、多彩な10種類の講座が準備されています。ご興味のおありの方は、桐朋学園芸術短期大学のホームページもしくは短大数学科(tel.03-3300-4252)までお問い合わせください。

Program

7. 三木 稔: 箏 譚詩集
 III 冬の夜
 V やがて春が
 箏 有馬 美梨(東京都)○
8. J. ハイドン: オラトリオ「四季」Hob.XXI:3より
 アリア「何という爽やかな感じでしょう」
 Sop. 森島絵利子(神奈川県)☆
 Pf. 村岡 奈々
J.Haydn: Welche Labung für die Sinne ("Die Jahreszeiten" Hob.XXI:3)
9. P. ブーレーズ: ソナチネ
P.Boulez: Sonatine
 Fl. 八谷 瑞穂(神奈川県)☆
 Pf. 齊藤美奈海
10. J. ブラームス: 甲斐なきセレナーデ
J.Brahms: Vergebliches Ständchen
 W.A. モーツァルト: 踊れ、喜べ、幸いなる魂よ
W.A.Mozart: Exsultate, jubilate
 Sop. 木村 優実(富山県)○
 Pf. 岩間なつみ
11. J. ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 作品77 ニ長調 第3楽章
J.Brahms: Violin Konzert D-dur Op.77 3.Satz
 Vn. 橋本 知歩(静岡県)○
 Pf. 伊藤 順子
12. J. ブラームス: ソナタ 第3番 作品5 ヘ短調 第5楽章
J.Brahms: Sonate für klavier Nr.3 f-moll Op.5 5.Satz Finale
 Pf. 村岡 奈々(北海道)☆
13. D. シュニーダー: フルート・ソナタ
 第1楽章 マンハッタナイト
 第3楽章 ブラジレラ
D.Schnyder: Sonata for flute and piano (1998/1999)
 1. "The Manhattanite"
 3. "a brasileira"
 Fl. 中村 音舞(長野県)☆
 Pf. 忠 紗友里(演奏助手)

★同窓会『桐の音』で行っている補助活動

同窓会では、下記の活動に補助金を助成しています。助成を受けた団体は、会報に活動報告をお願い致します。

コンサート後援

出演者の約1/2が本学の卒業生である場合、申請があればチラシ・ポスターに「後援：桐朋芸術短期大学同窓会『桐の音』」の記載を許可し、当日会場に盛花を送っている。

同期会補助

同期会を開催する場合、申請があれば五千円を補助する。 ※各地での県人会的な同窓会の場合は要相談

サークル活動補助

本学卒業生で組織されていて、定期的に練習・勉強会を行っている団体、サークルに対し、年額二万五千円を上限とし補助する。但し、申請の際、役員会で活動内容を審査し承認された団体にのみ支給、年度末には会計報告を提出しなければならない。

★後援したコンサート(令和元年度)

- 5月19日 「musica大音楽会 series vo.2」 桜丘区民センター別館 桜丘ホール 大井祥子(45期)ほか
●6月29日 「あること一緒に?親子で楽しむコンサート動物カーニバル」 カフェaona 橋本さやか(48期)ほか
○7月19日 「第9回二十五絃箏作品演奏会-4plus結成10周年記念」 めぐるパーシモン小ホール 吉葉景子(45期)ほか
●8月31日 「musica 夏の終わりの音楽会」 コーシャハイム千歳鳥山12号棟1階 コミュニティカフェななつのこ 大井祥子(45期)ほか
○9月23日 「Dream full Art concert vol.13」 国立市民芸術小ホール スタジオ 竹田早希(46期)ほか
●11月30日 Barliade~Joint Concert~ Le Salon de Clavier 森島絵利子(52期)ほか
○12月7日 「小さなコンサート~イタリアと日本のうた~」 六本木シンフォニーサロン 加藤理恵子(36期)ほか
●1月11日 「ギターデュオ さつき コンサートvol.1 ~R.ディアンスとS.アサドを讃えて~」 横浜市神奈川区民文化センターかなつくホール・ホール 杉田文(51期)ほか
○3月14日 「白尾隆フルートリサイタル」 熊本白川教会 弥永歩美(41期)ほか

- 3月27日 「桐朋学園芸術短期大学日本音楽専修設立20周年・「桐の響」結成10周年記念 第五回桐の響演奏会 野坂操壽先生を偲んで...」 渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール 遠藤琴音(49期)ほか

同期会便り

7 期生

私が役員を引き受けてから、はや10年も過ぎてきました。役員の皆様もいろいろな事情で出来なくなったりで私がただ役員会に出席しておりました。今年思い切って同期会を開いてみようかと、何とか6月23日に至りました。思ったより出席者が多く、当日14名楽しく会食、お話と約48年ぶりの再会でした。今後につながるそうで聞いてよかったです。 7期生 山崎雅子

10 期生

祝賀バレー当日と重なってしまいましたが東京神奈川千葉から8名が参加してくれました。今回は欠席だった京都や北海道、静岡のメンバーまた海外旅行中のメンバーがLINEで参加してくれてとても和気あいの楽しい会になりました。前回好評だった京都、北海道開催の時の幹事さん達は是非もう一度来て下さいと言ってくれ、次回は又遠出も考えましょうと話しながらお開きになりました。 10期生 吉田晃代

同窓会「桐の音」連絡先

Mail info@kirinone.jp

6期 新垣佳世子
昨年で70才になりましたが、今だに毎年「桐の音」を御送

4期 川越 恭子
合唱団の伴奏等今年も継続してやっていけたらと思っております。

11期 板倉 郁子
母の介護に追われています。

18期 新南田ゆり
「桐の音」には大変ご無沙汰しております。最近では、2015

2期 山口 洋子
昨年女声合唱団「ラ・フォルス」10周年記念コンサートも皆様の応援のおかげで無事終わりました。秋には千代田区の合唱祭に昨年は3月9日内幸町ホールの文化祭に参加いたしました。団員も募集中です。問い合わせ先 TEL:090-4450-9258

2期 川田 寛子
NPO法人「ポロニアネットワーク」をやっています。昨年は、12月22日すみだトリフォニー小ホールにてコンサートを行いました。 TEL:047-450-9639 www.polanet.org

10期 三橋 千鶴
洗足学園ミュージカルコースで教授をしております。今年で定年を迎えますが、恩師佐藤暉子先生のお言葉を胸に1日でも長く舞台上に立ち続けられるよう頑張っております。4月オペラ「サンドリオン」(せんがわ劇場)・5月ソロライブ(西船橋)・6月レトロな歌の花束(ミレニアムホール)、ブルーアイランド版「魔笛」(日本橋公会堂)・オペラ「北斎」(せんがわ劇場)・7月サロンコンサート(いずみホール)・「ああ夢の街浅草」10月(浅草公会堂)・11月「シャソンソフランセーズ」(渋谷伝承ホール)に出演しました。

35期 和田 剛治
皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。先日、演奏会のご案内をさせて頂きましたが、この度和田剛治は、平成30年度久留米市芸術奨励賞を受賞させて頂くこととなりました。そこで昨年11月21日休のピアノソロリサイタルは、受賞記念も兼ねて開催させて頂きました。長年取り組んできたフランス近代作曲家ドビュッシーの没後100年にあたり、「月の光」や「アラベスク」をはじめとした珠玉のピアノ作品を中心にプログラムを組みました。

43期 古谷 ちず
2018年8月出版しました。「自分責めをやめたいあなたへ」傷ついているあなたに贈る50のメッセージ(みらいパブリッシング刊)短大図書館に寄贈しました。また、2019年9月9日にリサイタルを杉並公会堂小ホールで開催しました。

11期 板倉 郁子
母の介護に追われています。

35期 和田 剛治
皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。先日、演奏会のご案内をさせて頂きましたが、この度和田剛治は、平成30年度久留米市芸術奨励賞を受賞させて頂くこととなりました。そこで昨年11月21日休のピアノソロリサイタルは、受賞

31期 日下部千夏
日々平凡に暮らしております。

30期 富澤かずえ
関(せき)かずえの名でYouTubeに出ています。シャンソン・カンツォーネの演奏・伴奏・指導・譜面書きなどとスタジオ経営をしています。

37期 鎌仲 陽子
都内で教室を運営しております。指導に関心ありの方、お力を借りたいです。(事務局から：鎌仲さんの連絡先をお知りになりたい方は、桐の音HPの「お問い合わせ」へ)



■会報の葉書より

り下さりありがとうございます。なかなか上京できませんが「桐の音」を楽しみに拝読しております。

年5月にリトアニア国立劇場にて杉浦千畝オペラ「人道の桜」世界初演、同7月に早稲田大学大隈講堂で日本初演、その後岐阜県主催の2公演を終え、昨年7月は、いわき公演、10月ウラジオストク公演、12月福井敦賀公演を行いました。オペラの脚本と千畝夫人(幸子)役で出演させて頂いております。

30期 富澤かずえ
関(せき)かずえの名でYouTubeに出ています。シャンソン・カンツォーネの演奏・伴奏・指導・譜面書きなどとスタジオ経営をしています。

37期 鎌仲 陽子
都内で教室を運営しております。指導に関心ありの方、お力を借りたいです。(事務局から：鎌仲さんの連絡先をお知りになりたい方は、桐の音HPの「お問い合わせ」へ)

53期 道下加奈恵
2020年3月3日火18:00開演ゆめりあホールでソロリサイタルを行います。

活動報告

役員会

2019年6月19日
 2019年10月2日
 2020年2月19日

幹事会

2019年12月12日
 (於・母校会議室)

○平成30年度 会計決
 算報告

○令和元年度 会計予算
 案審議

○現役生への奨学金(寄
 付金または補助金)に
 ついて

予算案は承認されまし
 た。当日はさらに、松井
 先生から学校の現状等
 のお話を伺った後、奨学
 金について活発な意見交
 換が行われました。
 この件については今回集
 まった意見を参考に、役
 員会にてさらに検討する
 ことになりました。

その他

2020年1月16日
 ●2019年度卒業予定
 者に対する説明会を開
 催しました。
 (55期生となります)

54期 新規会員名簿



伊与田 響子	大 槻 由紀枝	三 留 さやか
大 西 ひとみ	河 野 ゆう菜	安 食 亜莉沙
木 村 優実	小 嶋 真 紀	小 林 華 歌
柴 崎 秀子	鈴 木 千 尋	清 水 美 歩
鈴 木 史生	スマヤ 七海	佐 藤 弘 美
曾 根 智子	智 葉 夏 鈴	鈴 木 野乃花
竹 一 穂香	平 木 花 歩	橋 本 知 歩
西 野 康子	松 岡 杏 樹	早 川 恵 子
野 路 歩美	真 部 淑 子	李 天 禹
松 井 理 咲	森 川 由紀子	○杉 山 咲耶子
松 尾 喜代子	渡 辺 彰 子	吉 澤 巨 弥
森 尾 美 穂	○大 橋 すみれ	本 多 磨 梨
相 澤 真 祐	坂 根 美 瑛	○有 馬 美 絵
新 井 帆乃香	○佐 藤 優 圭	石 塚 文 絵
伊 藤 緑	築 田 友 加	杉 田 洋 子
井 上 芳	夏 日 瑠 歌	

○印は代表委員

桐の音 掲示板

7期の前田由紀子です。
 同窓生の皆様、そしてそのお子様お孫様、幼少期に使用されたピアノカヤリコーダー等どうされていますか?

私が携わっていますNPO法人
 AIMECは不要になった楽器を
 海外の子供達に寄贈する活動



を行っています。これまでウ
 ガンダ、タンザニア、モンゴ
 ルなどに寄贈しています。
 AIMECは音楽により世界の
 交わりを深め、戦争のない平和
 な世界を作ることを目的としてお
 り、その理念は「平和の輸出」です。

私達の大好きな音楽で世界平和に貢献できるのなら素
 晴らしい事だと思いませんか。同窓生フルート奏者、上
 塚恵理さん(43期)も会員として活動されています。

一人でも多くの子供が音楽を通して笑顔になることを
 願い、この活動を続けていきたいと思ひます。

AIMECのホームページ▶ <http://aimec-jp.org/>

令和元年度予算案 (通常会計)

(収入の部)	
前年度よりの繰越金	¥4,759,942
30年度卒業生入会金	¥570,000
利息	¥10
年会費(見込み)	¥800,000
合計	¥6,129,952
(支出の部)	
HP関係費	¥110,000
会報関係費	¥610,000
音楽活動費	¥10,000
各委員活動費	¥60,000
同窓生後援費	¥100,000
交際費	¥30,000
会議費	¥100,000
雑費(郵送費・振込手数料)	¥90,000
特別会計へ	¥800,000
合計	¥1,910,000
次年度繰越金	¥4,219,952

桐の音 平成30年度 決算報告

(収入の部)		予算案	決算額
新入会員入会金		¥765,000	¥765,000
利息		¥10	¥33
年会費		¥800,000	¥1,647,050
繰越金		¥4,468,027	¥4,468,027
合計		¥6,033,037	¥6,880,110
(支出の部)		予算案	決算額
HP関係費		¥110,000	¥119,654
会報関係費		¥600,000	¥589,636
音楽活動費		¥10,000	¥0
各委員活動費		¥60,000	¥9,320
同窓生後援費		¥100,000	¥60,582
交際費		¥30,000	¥0
会議費		¥80,000	¥421,526
雑費(郵送費・振込手数料)		¥90,000	¥119,450
特別行事積立(特別会計へ)		¥800,000	¥800,000
繰越金		¥4,153,037	¥4,759,942
合計		¥6,033,037	¥6,880,110

特別会計報告

(収入の部)	
前年度繰越金	¥10,096,489
通常会計より	¥800,000
利息	¥98
合計	¥10,896,587
(支出の部)	
ホームページリニューアル	¥86,400
振込手数料	¥432
次年度繰越	¥10,809,755
合計	¥10,896,587

上記決算報告書監査の結果、
 相違ないことを認めます。
 2019年4月30日 会計監査

募 集 中

同窓会のお手伝いをして下さる方、会報の編集の
 お手伝いをして下さる方を募集しています。

info@kirinone.jp

ご連絡ください

☎ 03-3717-2011 (皆川)
 住所、氏名等に変更がある場合は、
 代表委員長または、各期の代表委員まで。

「桐の音」のホームページ・メールアドレス

🌐 <http://www.kirinone.jp>
 ✉ info@kirinone.jp

👍 いいね!

facebook.

短大がfacebookを開設。
 今の短大をダイレクトな
 情報として知ることができます。
 是非、皆さん「いいね」を
 よろしく願ひします。